

U15 委員会活動緊急時対応マニュアル 2024

1 地震及び台風による延期決定方法

(1) U14 県リーグ・U15 クラブリーグ・U15 選手権山形予選の場合

① 県内全域に影響がある場合は、U15 委員長及び競技委員長、副委員長で相談し延期 又は中止を決定する。

* 場合によっては U15 委員長、U15 委員会顧問、県協会会長・専務理事と相談する。

<連絡方法>

・一斉LINEで送信及びホームページに掲載する。

・各会場責任者に連絡し、参加チームの代表者に連絡する。→チームで共有

② 地域で判断する場合(例 庄内地域 内陸地域など)各会場責任者等・U15 委員長・副委員長・競技委員長が協議し、延期を決定する。

<連絡方法>

・一斉LINEで送信及びホームページに掲載する。

・会場の参加チーム代表者に連絡および U15 委員長及び競技委員長に連絡する。

(2) 育成練習会の場合

① ブロック選抜育成交流会の場合は、会場責任者、実施責任者(育成委員長)、U15 委員長で相談し判断する。

<連絡方法>

・ホームページに掲載。

・各地区育成マネージャーに連絡。スタッフと協力して参加者全員に連絡する。

② 地区育成練習会・県育成練習会の場合は、育成スタッフ及び育成マネージャーと相談し、中止を決定する。

* 場合によっては U15 委員長、U15 委員会顧問、県協会会長・専務理事と相談する。

・参加者全員に連絡する。

※延期判断のポイント

① 交通機関の通行止め(高速道路及び基幹道路(国道))

② 施設の破損(体育館の屋根が剥がれる。天井板の落下。窓ガラスの破損等)

③ 使用施設が避難所に使用された場合。

2 選手・審判員の怪我、会場に来られている人の事故(急に具合が悪くなった)への対応(各活動中救急搬送が必要な怪我・事故が起きた場合。)

<対応>

・チームスタッフ・保護者・会場責任者・育成スタッフ・マネージャーで応急処置をする。

・チームスタッフ又は会場責任者・競技責任者・育成スタッフ・マネージャーいずれかが

病院に付き添うこと。

- ・保護者がいれば必ず付き添っていただく。(いない場合連絡をとる)
- ・怪我の経過を保護者、会場責任者・育成マネージャーに伝える。会場責任者又は育成マネージャーは学校責任者及び U15 委員長に報告する。
- ・救急搬送した場合、怪我をした選手(スタッフ)の所属する学校に連絡する。
- ・学校責任者は教育委員会に報告。(教育委員会から山形県スポーツ保健課に連絡がいく)
- ・チーム責任者及び学校責任者又はチームスタッフは保護者と相談し、学校安全保険・PTA 安全保健、スポーツ安全保険等の手続きを行う。

JBA 緊急時対応計画

1. 次の場合、直ちに救急車(119 番)を呼ぶ。

- 意識障害:意識がない、朦朧としている、
- 痙攣を起こしている時
- 脈が触れない時
- 呼吸停止・呼吸困難
- 頭痛:今まで経験したことのないような強い痛みがある時、頭を強く打って嘔気・嘔吐がある時 など
- 激痛が持続する場合
- 多量の出血を伴う場合
- 大きな開放創をもつ場合
- 広範囲の火傷を受けた場合 骨折の疑いがある時
- その他、判断に迷う時には 119 番 通報する

2. 「119 番」し、以下のように救急隊の対応に明確に答える

火事ですか？救急ですか？住所はどちらになりますか？

状況を教えてください。

お使いの電話番号は？あなたのお名前は？どこへ行けばよいですか？

「救急です。」

「〇〇市〇〇番地 〇〇学校です。」住所と学校名を言う。

「だれが(傷病者の名前)、いつ(時間)、どこで(施設名)、どうして(ケガ・病気の原因)、どうなった(傷病者 状態)」を伝える。

「〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇です。」学校や会場 電話番号を言う。「〇〇です。」

「〇〇へお願いします。」「スタッフが誘導します。」救急車が到着するまでにしておくべきことがあるかどうかを聞く。

3. 救急車を要請したら

役割分担をして、傷病者の手当てと状況、現場の管理を行う。

- 傷病者の手当て・観察

- 救急車の誘導
- AEDの準備
- 傷病者の「緊急連絡カード」を準備 選手、参加者の誘導
- 保護者への連絡(「緊急連絡カードに記載」) 注意事項
- 頸椎(首)のケガが疑われる場合、声をかけて意識を確認し、動かさずに救急車の到着を待つ
- 嘔吐がある場合は身体を横にする

4. 救急車が到着したら

- 傷病者に行った手当て・内容を報告
- 緊急連絡カードを渡す
- 救急車には、傷病者についてよく知っている者が同乗

5. 緊急対応が終わったら

- 「傷病・事故報告書」に詳細と対応を記入する

JBA 緊急時対応計画

各会場責任(管理)者へ お願い

緊急時において敏速に対応を行う為に、「緊急対応カード」を準備します。

119 番通報を促すために、下記を提供してください。また、施設(学校)で定められた講習会会場(体育館)における 緊急時対応計画があれば準備してください。

1. 施設名と住所(救急車に行き先を伝えるために必要です)
2. 会場に備え付けの電話の電話番号(119 番に通報する際に使用します)
3. 救急車が施設に来る場合は入り口への案内方法(住所や施設名ではわかりにくい場合があるので、付近の目印や通りの名前などを使い、わかりやすい案内が必要です)
4. AEDの場所
5. 救急車誘導のため、通り道を確保(校門や通用門 鍵など、救急車を会場施設に誘導するために必要なものを準備してください)